

YES-プログラムの事例

社会に通用する能力を育成するシステム

—YES-プログラム—の活用事例を紹介します。

『社会に漕ぎ出す羅針盤として』

職業相談の場で積極的にYES-プログラムを案内しているヤングハローワークしづや（東京都・渋谷区）のケース

「最近特に目に付くのは、就職未経験の若い方で『何からやればよいのか判らない』といったケースです。当所の相談員はカウンセリングを行う中でコミュニケーションやビジネスマナーの重要性を説明するのと併せてYES-プログラムを紹介しています。若者にとっては、就職に向けたアピール力が高まることもあり、手探りの状態のところ一条の光明が差すような形になっています。就職に必要な基礎能力について客観的な認証を受けておくことは、本人にとって大きな自信につながりますので、相談員はそういった点を強調しています。」

『人材マネジメント体系の中での位置付けに』

採用したスタッフの入社教育と登用基準の位置付けとして導入を計画中（製造請負・受託、物流構内請負業）

「世間で言う、いわゆる社会人としての基礎教育は「マナー」が中心で「挨拶」「報連相」「職場での人間関係」「社会人としての心構え」といった内容だと思います。しかし、どれも抽象的で「スキルとして身に付いた」と実感の持てるものではなく、残念ながら、実態に即していない内容も多いです。しかし、YES-プログラムは「ビジネスリテラシー」に焦点を当てて、ビジネスパーソンに求められる資質とスキルが体系的にまとまったプログラム構成になっており、実際のビジネスシーンに即役立つプログラム構成になっていると思います。弊社では、契約社員・パート社員から正社員登用をする際、新卒者の採用をする際、派遣スタッフの教育等々で、その基軸となる「ビジネスリテラシー」の体系化を検討していたので、その位置付けで活用できる実践プログラムとして高い期待をしています。」

◆この他にもYES-プログラムの活用事例は

<http://www.bc.javada.or.jp/yes/katsuyo/index.html>に掲載しています。

社会が求める「わたし」をめざす。



若年者就職基礎能力支援事業

YES
PROGRAM
Youth Employability Support Program

■ YES-プログラムの事業概要について知りたい

<http://www.mhlw.go.jp>

■ 認定講座・認定試験に関する情報を見たい

<http://www.bc.javada.or.jp/yes/>

■ 若年者就職基礎能力修得証明書について知りたい

<http://www.bc.javada.or.jp/yes/>

● 若年者就職基礎能力修得証明書の申請書入手したい

<http://www.bc.javada.or.jp/yes/>からダウンロード

● 若年者就職基礎能力修得証明書の申請書の提出先

中央職業能力開発協会へ郵送（下記の住所あて）

お問い合わせ先一覧

● YES-プログラム全般について

厚生労働省 職業能力開発局 能力評価課

電話 03-5253-1111（内線 5936） FAX 03-3502-8932

住所 〒100-8916 千代田区霞が関1-2-2

● 「若年者就職基礎能力修得証明書」の発行について

中央職業能力開発協会 能力評価部

電話 03-5800-3468、3464 FAX 03-5800-3923

住所 〒112-8503 文京区小石川1-4-1 住友不動産後楽園ビル